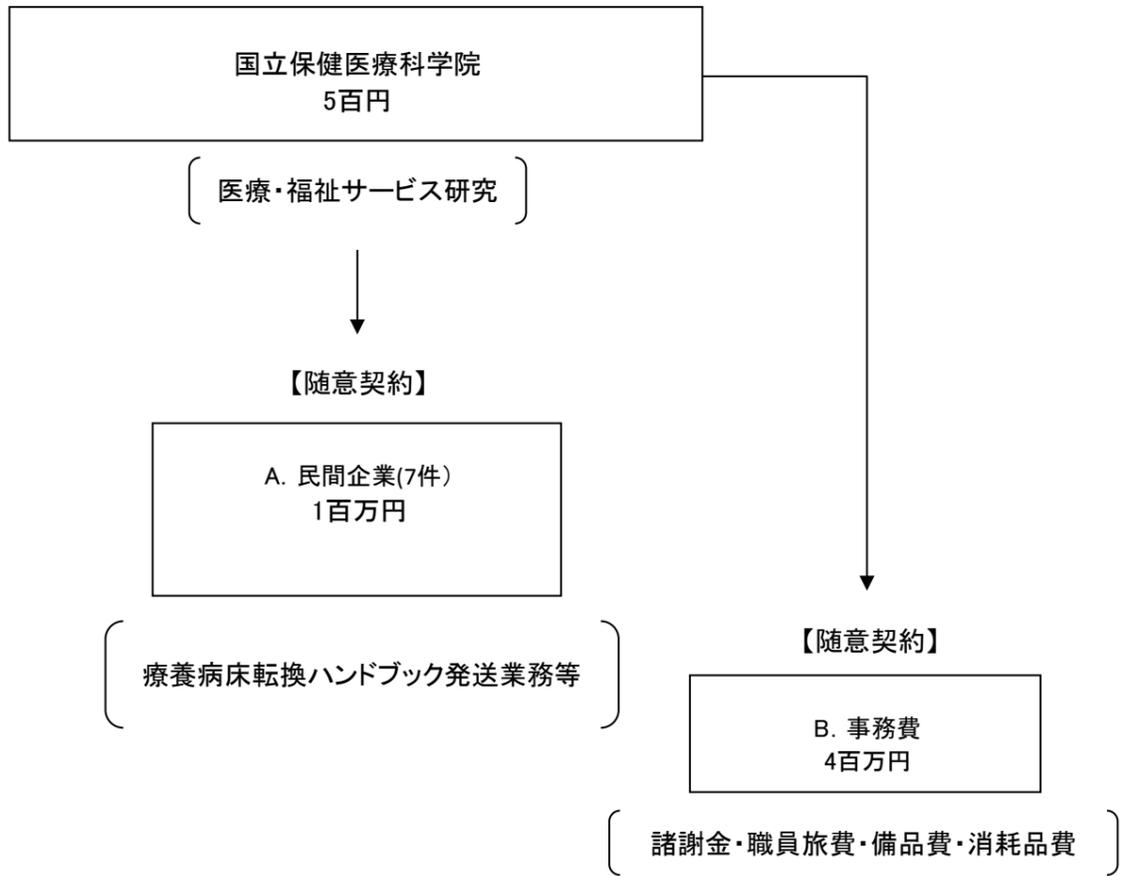


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療・福祉サービス研究		担当部局庁	国立保健医療科学院		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度、平成18年度、平成23年度		担当課室	総務部会計課		課長 岡山 幸平		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適性かつ効果的な運営を確保する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	介護保険法 第5条、第百二十条 良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部を改正する法律(平成18年法律第84号)、改正後の医療法第6条の10及び新省令第1条の11 高齢者の医療の確保に関する法律		関係する計画、通知等	診療報酬・医療安全対策加算:科学院等で実施される研修を修了した医療安全管理者の配置、年に2回の全職員対象とした医療安全研修の実施、行政処分医師の再教育				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療・福祉サービス研究の目的は、わが国の保健・医療・福祉サービスの提供体制の効率化及び質の向上に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	有効な介護予防のための保健事業の開発、実施、評価支援に関する調査研究、医療安全管理等に関する調査研究、医療機関における新たな概念と手法を用いたマネジメント教育に関する研究及び保健医療福祉サービスに関する調査研究を行っている。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	6	6	5	7	15	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	6	6	5	7	15	
		執行額	6	5	5			
	執行率 (%)	100.0%	83.3%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	保健医療福祉サービスの提供体制の効率化及び質の向上に関する総合的・中長期的な視点に基づく調査研究であり、定量的な指標の設定は困難である。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	1 医療機関における新たな概念と手法を用いたマネジメント教育に関する研究 ・マネジメントモデルの開発 2 保健医療福祉サービスに関する調査研究 ・サービスの評価分析手法の開発		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	2 2	-
					-	(-)	(2) (2)	()
単位当たりコスト	112(千円/件)		算出根拠	・マネジメントモデルの開発 224千円/2件=執行額/開発件数				
	514(千円/件)			・サービスの評価分析手法の開発 1,028千円/2件=執行額/開発件数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.4	0.4	事業追加に伴う増。				
	職員旅費	0.6	0.8					
	委員等旅費	0.1	0.2					
	試験研究費	5.5	14					
	計	6.6	15.4					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的 状・ 予算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	都道府県・市町村が応用できる技法に関する調査研究であるため重要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	都道府県・市町村のパフォーマンスを比較するためには、国が共通の評価手法を提案することが望ましい。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	-
資金 の 流れ、 費目・ 使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	100万円以下の役務のため少額随意契約とした。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	経費節減に努めたため、単位あたりコストは低下している。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定している。
活動 実績、 成果 実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	これまでにない新しい技法を開発し、地方自治体の実務上の問題解決を支援できる。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	-
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績はその見込みに見合ったものとなっている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	-
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	地方自治体の医療計画策定等に応用されている。
点 検 結 果	事業の必要性及び成果、予算執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き、効率的な執行に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
現 状 通 り	本事業は、わが国の保健・医療・福祉サービスの提供体制の効率化及び質の向上に資することを目的とし、保健医療福祉サービスに関する調査研究等に必要な経費であり、執行状況等検証の上、引き続き適切な予算措置とすること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0601、0602	平成23年行政事業レビュー	0915



資金の流れ
 (資金の受け
 取り先が何を
 行っているか
 について補足
 する) (単
 位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	100万円以上の支出先なし				
計		0	計		0
B.(株)西田文具			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	デスクトップパソコン購入	0.93			
備品費	無停電電源装置購入	0.09			
消耗品費	事務用消耗品購入	0.08			
計		1.10	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	勝美印刷株式会社	平成22年度版療養病床転換ハンドブックの発送業務	0.50	随意契約	
2	株式会社ベストバージョン	英文校閲	0.17	随意契約	
3	(株)翻訳センター	英文校閲	0.12	随意契約	
4	株式会社会議録研究所	会議録作成	0.11	随意契約	
5	(株)エアクレーレン	文献複写	0.001	随意契約	
6	福)日本キリスト教奉仕団	文献複写	0.001	随意契約	
7	学校法人 明星学苑	資料賃貸借	0.001	随意契約	
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)西田文具	デスクトップパソコンほか購入	1.10	随意契約	
2	(株)紀伊国屋書店	外国雑誌購入	0.82	随意契約	
3	(株)三省堂書店	外国雑誌購入	0.35	随意契約	
4	個人A	職員旅費	0.23		
5	個人B	諸謝金	0.21		
6	ジオサーフ株式会社	ソフトウェア購入	0.21	随意契約	
7	個人C	職員旅費	0.18		
8	堀内電機(株)	デスクトップパソコン購入	0.17	随意契約	
9	個人D	職員旅費	0.17		
10	とら屋事務(株)	事務用消耗品購入	0.10	随意契約	